

hiki  
kyuryo



比企丘陵の  
エコシステム  
風土共創



# ネーチャーポジティブで 農業遺産を守る

－ 土壌資源の見える化による  
生態系サービスのブランディングの事例 －

立正大学  
地球環境科学部  
環境システム学科  
後藤 真太郎

## ネーチャーポジティブとは

Convention on Biological Diversity（生物多様性条約）COP15で採択された世界目標：

「2030年までに自然の損失を止め、回復軌道に乗せる」

単なる保全ではなく、

自然資本を**守りながら増やす経済**へ転換する

# SDGsウェディングケーキモデル

人類の基本的な生存手段である衣食住を担う  
「生態系サービス」の持続可能性が  
SDGs達成の重要なテーマ

生態系から学ぶ  
持続可能な社会モデル

デイリーの3原則

生産・消費・排出のバランス

~~大量生産・大量消費・大量廃棄~~

生態系はこのバランスを実践する持続可能な社会モデル

ESG投資  
ネーチャーポジティブ  
自然資本主義



# 学長政策費補助事業 デジタルグリーン分野対応型人材養成セミナー

- 12/1（月） 15:00-17:00 6号館セミナー室 （100人論文期間中に開催）  
リモートセンシング、GIS、環境情報
- 12/6（土）品川キャンパス6号館 611教室 インパクト評価 （100人論文期間中に開催）  
品川区・皆野町インパクト評価事業 齊藤秀隆（デジラボホールディングズ）  
EBPMの健康産業への応用～セグメンテーション&ターゲティングによる最適なサービス設計  
渡辺美智子（立正大学）  
生態系サービスの定量化と応用 後藤真太郎（立正大学）
- 1/25（日）日本農業遺産の持続的管理の課題 TNFD、ESG投資との神話性（SAVEJAPAN事業と同時開催）
- 1/31（土）農業・環境 小川町図書館  
森の当事者”を増やす：サイエンス・データ・ナラティブ” 尾崎康隆（土佐町/もりとみず基金）  
共創のもりづくりー一般社団法人山守学舎の活動ー 戸口勝（山守学舎）  
小川町上横田大沼地域循環共生圏構想と地域の食の自立 高橋優子（（特非）生活工房つばさ・游）  
土壌微生物多様性・活性値による生態系サービスの見える化 後藤真太郎（立正大学）
- 2/20-21（土日）日本農業遺産とデジタルグリーン 埼玉福興セミナールーム（熊谷市妻沼） + オンライン  
徳島 西阿波傾斜地農業世界遺産 林博章  
西阿波・熊谷共和国でのDAOの事例におけるデジタルグリーンの実践  
システムの持続に向けて パネルディスカッション 新井利昌（農福連携） + 登壇者

# 「谷津沼農業」を知る

～防災・減災につながる「ため池・谷津沼農業」を守る～

12月7日(日) 10:30～14:30

## ①谷津沼農業についてのレクチャー

- ・立正大学地球環境科学部 後藤真太郎教授  
実際にこの農法でお米づくりをしていて、防災士でもある後藤教授から基本的な説明をしてもらいます。

## ②谷津沼農業の「農福連携圃場」を見学！

- ・集合場所から車で15分ほどの熊谷市小江川の「農福連携圃場」を見学

## ③お米をカマドで炊いてみる「おなかマ会」

- ・お米を食べてみながら、ため池保全や農業の現状などについて、気軽に意見交換します。

### ■参加対象

谷津沼農業や馬糞活用、カマドなど、関心ある方はどなたでも

### ■会場、集合場所など

①は熊谷市万吉(まげち)で空き家活用している場所です。お申し込みの方に住所と地図をお送りします。

### ■参加費 無料

■持ち物 飲み物、帽子、動きやすい服装 好きなおかず1品

■要申込・各回15名程度、先着

申込み・お問合せは下記QRコードへ [npokumagaya@gmail.com](mailto:npokumagaya@gmail.com)



## 12月14日(10:30～12:30) 馬と馬糞を学ぶ！

農福連携圃場でお米づくりをしている、「馬と暮らし学舎」。児童発達支援事業・放課後デイサービスなどの運営をしています。馬糞を活用して堆肥づくり、「谷津沼農業」でのお米づくりに活かすために、馬や馬糞堆肥の見学をします。体験会場は滑川市福田の牧場。



## 2026年4月

ため池・田んぼの生き物調査

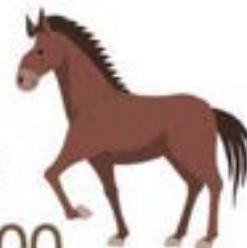


## 2026年5月

谷津沼農業の田植え、保全体験



# 馬と触れ合い 馬糞堆肥づくり体験



1月25日(日) 11:00～13:00

馬と触れ合う、児童発達支援事業・放課後デイサービスを運営をしている「馬と暮らし学舎」はお米づくりにも取り組んでいます。毎日出る馬糞を資源として活用する取り組みを体験・見学します。

## ①馬や馬糞(ポロ)についてのレクチャー

- ・馬の一日やどれくらい食べてどれだけ出すのか... など
- ・馬糞でつくる堆肥づくりの流れなどを紹介
- ・牧場での馬糞拾い体験

## ②馬と一緒に食事

- ・馬のえさやり体験
- ・焚き火を囲いながら「谷津沼農業」でつくったお米で食事



### ■参加対象

谷津沼農業や馬糞活用などに関心ある方はどなたでも

### ■会場、集合場所など

会場：滑川市福田 2120 馬と暮らし学舎 牧場  
熊谷駅から車で15分くらいです

①現地に11:00 駐車できます ②熊谷駅南口に10:30

### ■参加費 無料

■持ち物 飲み物、帽子、動きやすい服装

### ■要申込・各回15名程度、先着

申込み・お問合せは下記QRコードへ

[npokumagaya@gmail.com](mailto:npokumagaya@gmail.com)

## いきものが住みやすい環境づくり、SAVE JAPAN プロジェクト 2025 埼玉

熊谷や滑川など比企広域地域で古くから行われている「ため池・谷津沼農業」は日本農業遺産に登録されました。その周知と、田んぼや畑で活用する堆肥づくりに取り組んでいます。



12月「谷津沼農業を知る！」を実施。熊谷市小江川地域での田んぼの取り組みと谷津沼を見学。雨水を活かした無農薬農法でつくったこの田んぼのお米を食べてみました。

2026年4月、5月は馬糞堆肥を活かした畑や田圃の土壌調査や谷津沼農業の保全などを体験します。



**比企丘陵の天水を利用した  
谷津沼農業システム:**

**サト、マチ、ヒト、生きものの  
エコシステムで守ってきた**

# **風土共創**

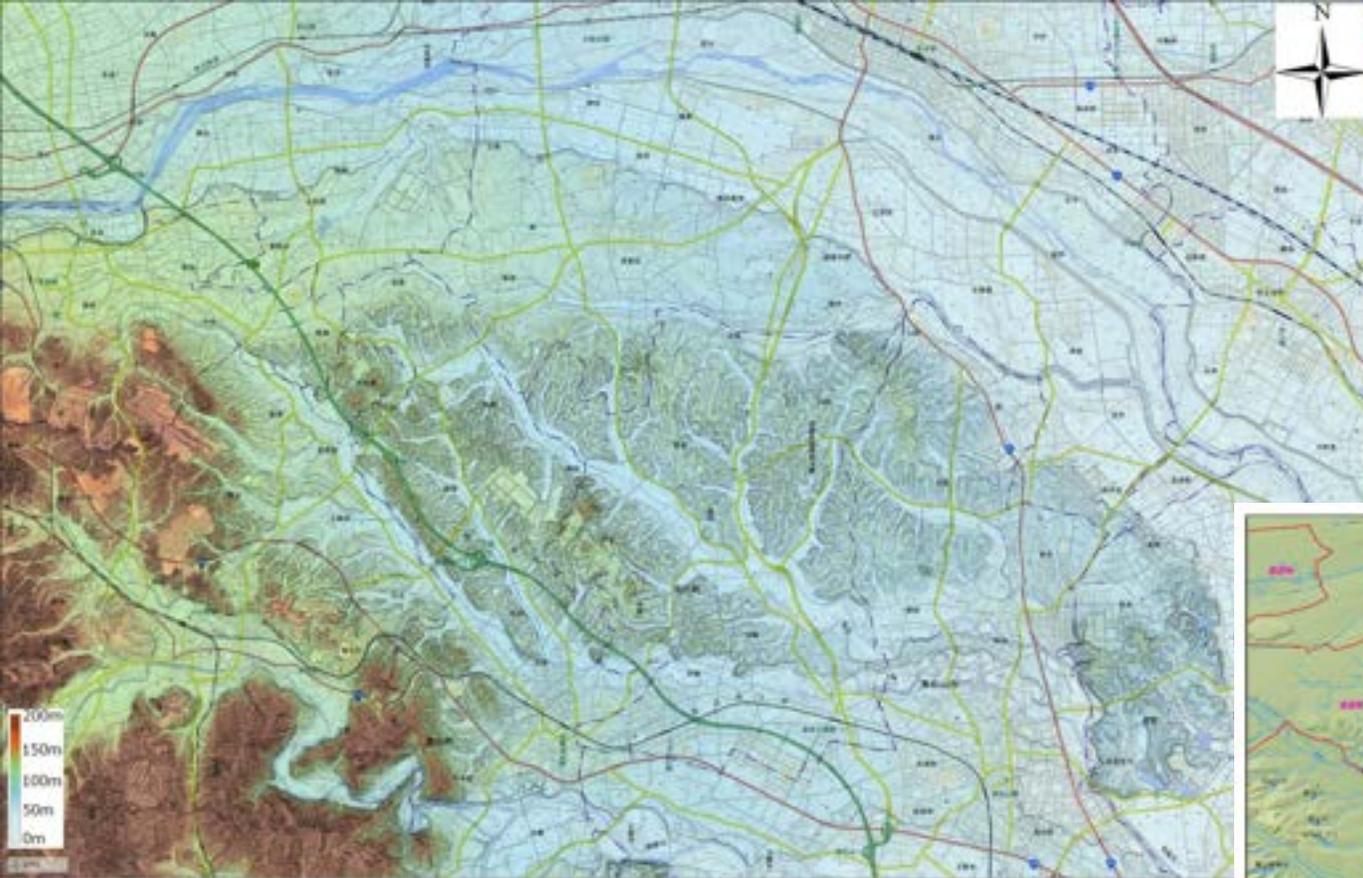
比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム  
令和5年3月1日  
日本農業遺産認定



印旛沼周辺（千葉県）の谷津地形の分布（立正大学作成）

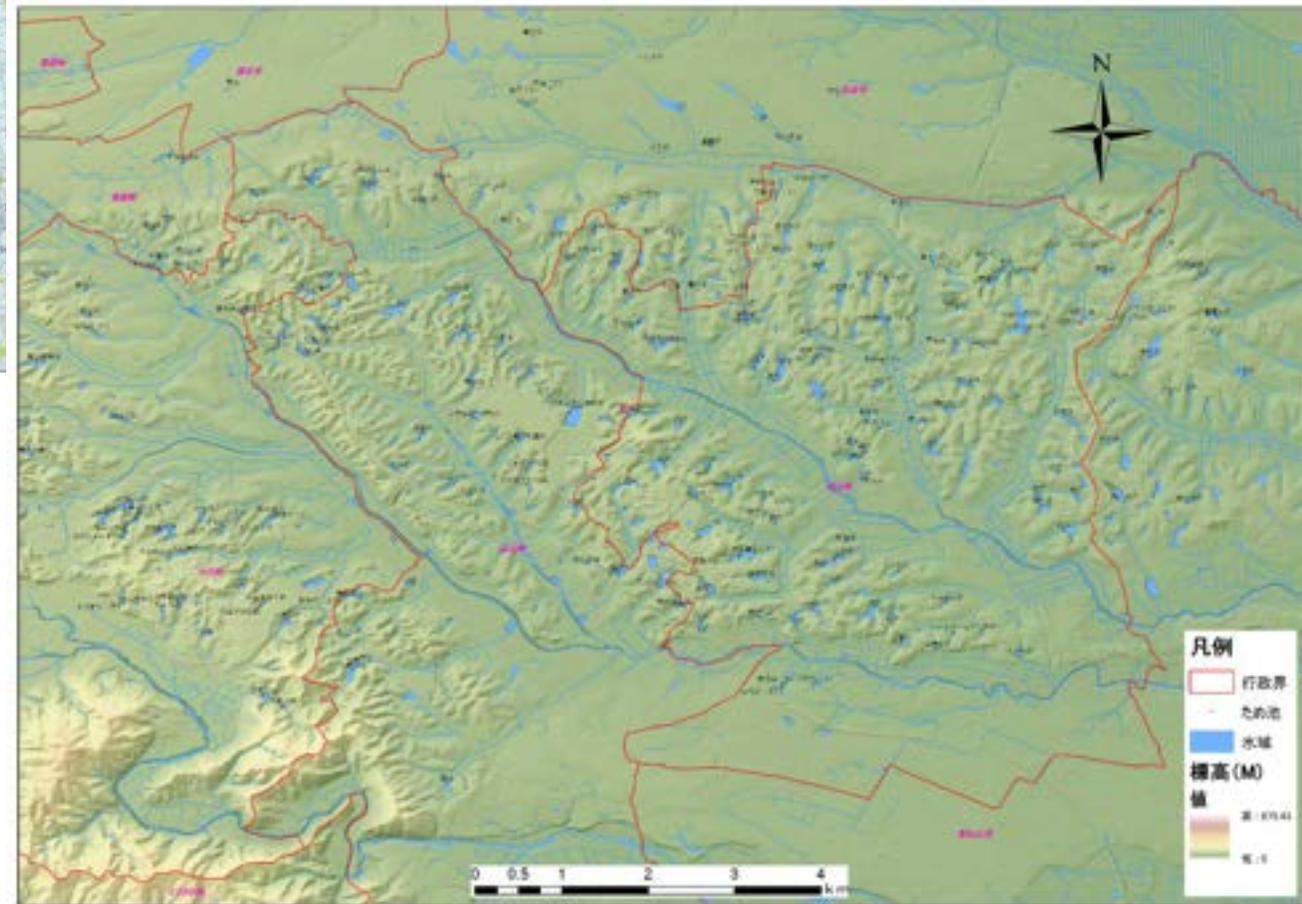


比企丘陵の谷津地形の分布（立正大学作成）



比企丘陵のため池の分布（立正大学作成）

比企丘陵の谷津地形の分布（立正大学作成）



# 比企丘陵のレガシー

比企丘陵で1500年以上の歴史の中で養われた谷津沼農業文化に改めて着目し、日本・世界農業遺産に登録申請するため、滑川町、熊谷市、深谷市、東松山市、小川町、嵐山町、吉見町、寄居町で構成される協議会が2017年7月7日に発足

- なぜこのような農業形態となったのか？  
－有利でもあり不利でもある地形条件が生んだ独特のシステム－
- このような農業形態が水・物質循環にもたらす意義  
－農業用水・栄養分・土壌の循環システム－
- 谷津沼農業がもたらす人・生態系への恵み

<https://www.youtube.com/watch?v=v0xt1Dguxs8&t=15s>

# 比企丘陵は沼水による米づくりの先進地

600年

1600年

江戸時代

2000

588年  
日本最初の  
瓦葺き建物  
●飛鳥寺  
の創建



飛鳥寺と同タイプの軒丸瓦出土  
東日本最古の寺院●寺谷廃寺

616年  
日本最古の  
ダム式ため池  
●狭山池の築造

●谷津沼がほぼ完成

●水争いの記録

全国的に  
**新田開発**  
が盛んになる

農書による  
**ため池**  
の普及

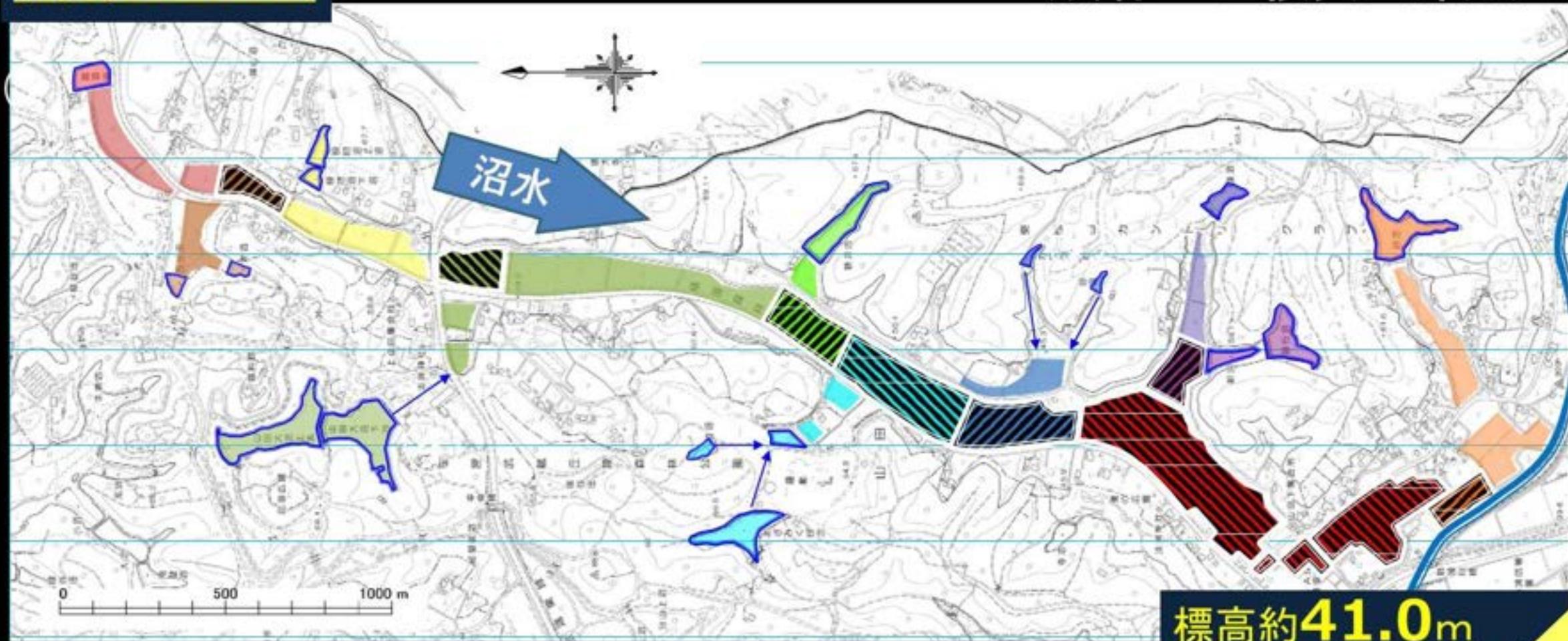
●雨乞いの記録

比企丘陵で 谷津沼による米づくり

# 高所から低所へ流れる**沼水**をムダなく利用

標高約**55.0m**

(斜線・・・重複受益部分)



# 比企丘陵の日本農業遺産はネーチャーポジティブの宝庫



生物文化多様性  
農業多様性

# 谷津田米 水土まほろばの贈物



「私たちにとっては、沼があるのはあたりまえ。改めて『農業遺産』と言われても、ピンと来ないんだよな」  
谷津田米生産者組合の島田郁生さんは、そう言いながら笑った。

春、田んぼに水を引く前には、地域の人々が総出で、沼から水を引く用水路の掃除や草刈りをする「掘り替」をした。「これをしないと、うちの方には一日経っても水が来ないんだ」と島田さん。そして午後には、田子をつくって祭典を開いた。この他にも、夏には沼の堤の草刈り、そして水が少なくなるときには「水番」が付き、水を大切に守った。

一番水が必要とする稲の穂が出る時期に流す水を「出穂水(ではみず)」といい、沼はいよいよ水を使い切る。出穂水は村中に伝えられ、浅くなった沼には人々が集まり、ウナギや小エビなどを捕った。

沼は地域の共有財産。みんなで大切に守り、その恵みを共有していた。それが当たり前のように存在したが、比企の谷津沼だった。

# 谷津沼農法

悠久のため池群が育む  
谷津沼農業システム

荒川・利根川という2大水系を要する埼玉県において、比企丘陵地域の水事情は、他とは少し異なる。地形的な理由から大きな河川から水を引くことができず、岩盤層のために地下水を利用することもできない。そこで先人達が編み出したのが、丘陵地に広がる谷津の地形を活かした「谷津沼農業」だ。

谷津沼の要となるのが、この地域では「沼」と呼ばれる、ため池だ。埼玉県内には479箇所のため池があるが、比企地域にはそのうちの約3/4に当たる355箇所が存在する。丘陵地にヤツデの葉のように広がる谷を利用し、谷の最も奥に堤を築いて谷津沼を作り、その下流に田んぼを切り開いた。両脇の斜面の雑木林は雨水をゆっくりと沼に流し、芝刈りや落ち葉かきの葉は堆肥にして田畑に施された。雑木林の木々は人々の生活を支える燃料となり、その下の豊かな土壌

は雨水をゆっくりと沼に流した。そして沼の水は水田を潤し、美味しい米を育んだ。

谷津沼農業が確立したといわれる江戸時代初期から、先人達はこの仕組みを現代に至るまで、脈々と受け継いできた。この地域の宝である谷津沼農業システムを未来に受け継ぐことは、私たち世代の責任に他ならないだろう。



# 農福連携のサトマチ作り



## 農福連携と

ソーシャルファーム(Social Firm)

農福連携とは、士と、人と、地域と、仕事と分断された結びつきを「福祉」を通して再生し、地域の暮らしと経済づくりを支えるしくみです。

ソーシャルファームとは、特に障がい者や労働市場で不利な立場にある人のために安定的な雇用と賃金を確保するという社会的な目的をもって活動している企業や組織をいいます。

農業の現場では、高齢化などにより担い手の減少が止まらず労働力不足が悩みの種です。一方の福祉サイドでは、障がい者・生活困窮者の働く場所がなかなか見つかりません。農業の「働き手がない」という問題と福祉の「働く場がない」という問題を解決します。

## 埼玉福興の取り組み

熊谷市にある埼玉福興は1993年、新井利昌代表が、自宅を活用して小規模ホームを開設、同時に、障がい者を雇用し、文具や医療品の下請けの作業所を併設したことから始まり、13年前から農業へ事業の展開してきた。ベビリーフの水耕栽培からはじまり、今では、長ネギや玉ねぎの植え付けから出荷を受注、300件の深谷ネギ農家と契約して苗の出荷をするまでになっています。

さらに、利根川の氾濫原である肥沃な土地を利用してオリーブの栽培から、オリーブオイルの生産までの過程を事業化し、様々な障がいのある人に適した仕事を生み出すことで多様な「居場所」が提供できる「ソーシャルファーム」を醸成しております。このオリーブ園、2014年には国際オリーブオいるコンテストで銀賞、2016年には金賞を受賞しているという賞の高さ。こうした事業に係わることは、働き手のモチベーションの向上につながっているようです。



# 風土共創による農業遺産の維持

比企丘陵の谷津沼農業文化は農村環境の保全・形成、多面的機能が発揮された賜物 この文化を維持し、農業遺産登録申請を機に、比企丘陵で地域資源を活かした価値共創、消費者との価値共創、地域内外の人々との価値共創によって維持し、持続可能な自立した地域を醸成していく。

具体的には、、、

- **地域資源を活かした価値共創**

ため池の水管理組織の継続による地域のネットワークの維持      地域ブランドの醸成  
観光資源の開拓（エコツーリズム、アグリツーリズム）

- **消費者との価値共創**

自治体間のネットワークによる新たな6次産業の創出      環境保全型農家の育成

- **地域内外の人々との価値共創**

オーガニックフェスティバルの開催による共創ネットワークの醸成（小川町、熊谷市）  
農福連携、食菜教育

日本農業遺産は、

Globally Important Agricultural Heritage Systems (GIAHS) \*  
と連動する制度

\* FAO (Food and Agriculture Organization) 認定

特徴：

- 生物多様性、伝統知、景観、地域社会、農業生産が  
**一体構造 (Nexus) になっている。**

日本農業遺産はすでに「ネーチャーポジティブの実装モデル」になり得るポテンシャルを持つ。

# 土壌を**環境コスト**ではなく**資本**として再定義

## 土壌資本の見える化の実装ステップ

### STEP1 | 土壌の「資本化」する

#### ① 測る（可視化）

測定項目：

腐植、化学分析（窒素）、土壌微生物多様性・活性値  
団粒構造、水保持能、栄養塩循環

→**土壌資本スコア**として統合

→**土壌診断ダッシュボード**

# 土壌の価値からみた生態系サービス評価・ ブランディング

10  $\mu$ m

# Soilマークによるプランディング



年の祈り

■ 企画・実行  
立正大学谷津田イノベーション研究会  
社団法人農業者連産推進協議会

■ 製造・販売  
〒380-0843 埼玉県熊谷市三ツ沢 1491  
種田酒造 株式会社  
Tel: 048-532-3611  
Fax: 048-532-7889



豊かな土の無農薬



## STEP2 | 生態系サービスへ翻訳する

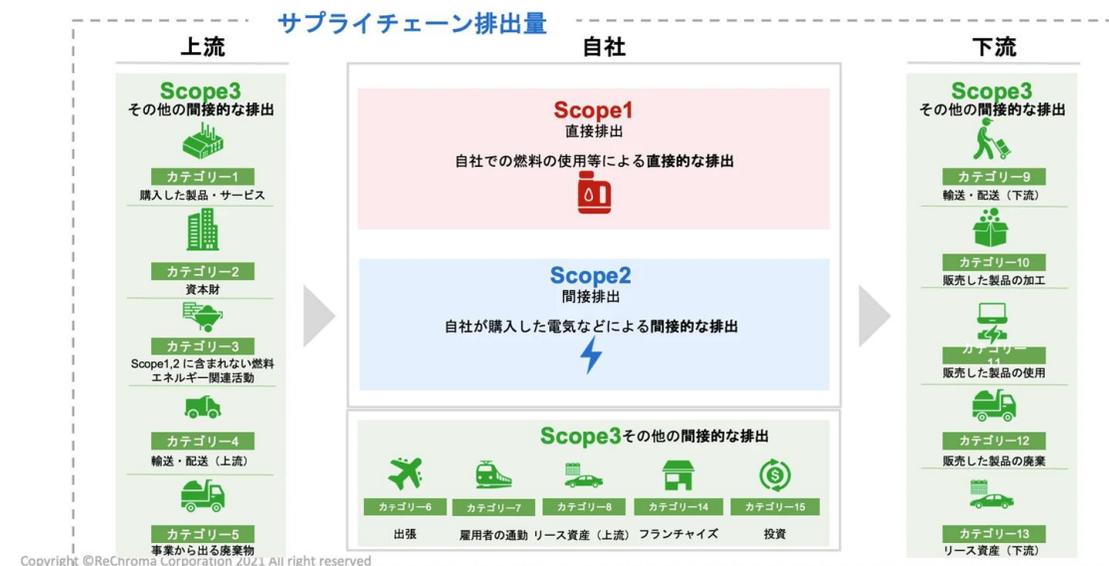
土壌資本 → 生態系サービスへ変換

土壌機能	生態系サービス	経済翻訳
炭素貯留	気候緩和 堆肥提供	カーボンクレジット 堆肥費用低減
浸透性	洪水防止	保険料低減
微生物多様性	病害抵抗性	農薬削減
団粒構造	品質向上 堆肥提供	有機窒素の無機化 堆肥費用低減

# STEP3 | 経済循環へ接続する方法

## A. TCFD・ESGへ接続

企業は現在、  
自然リスク、サプライチェーンの  
持続性、Scope3排出 を開示



ここに

「農業遺産地域は土壌資本が増加している」という指標を接続

TNFD (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures )  
に土壌資本データを組み込む

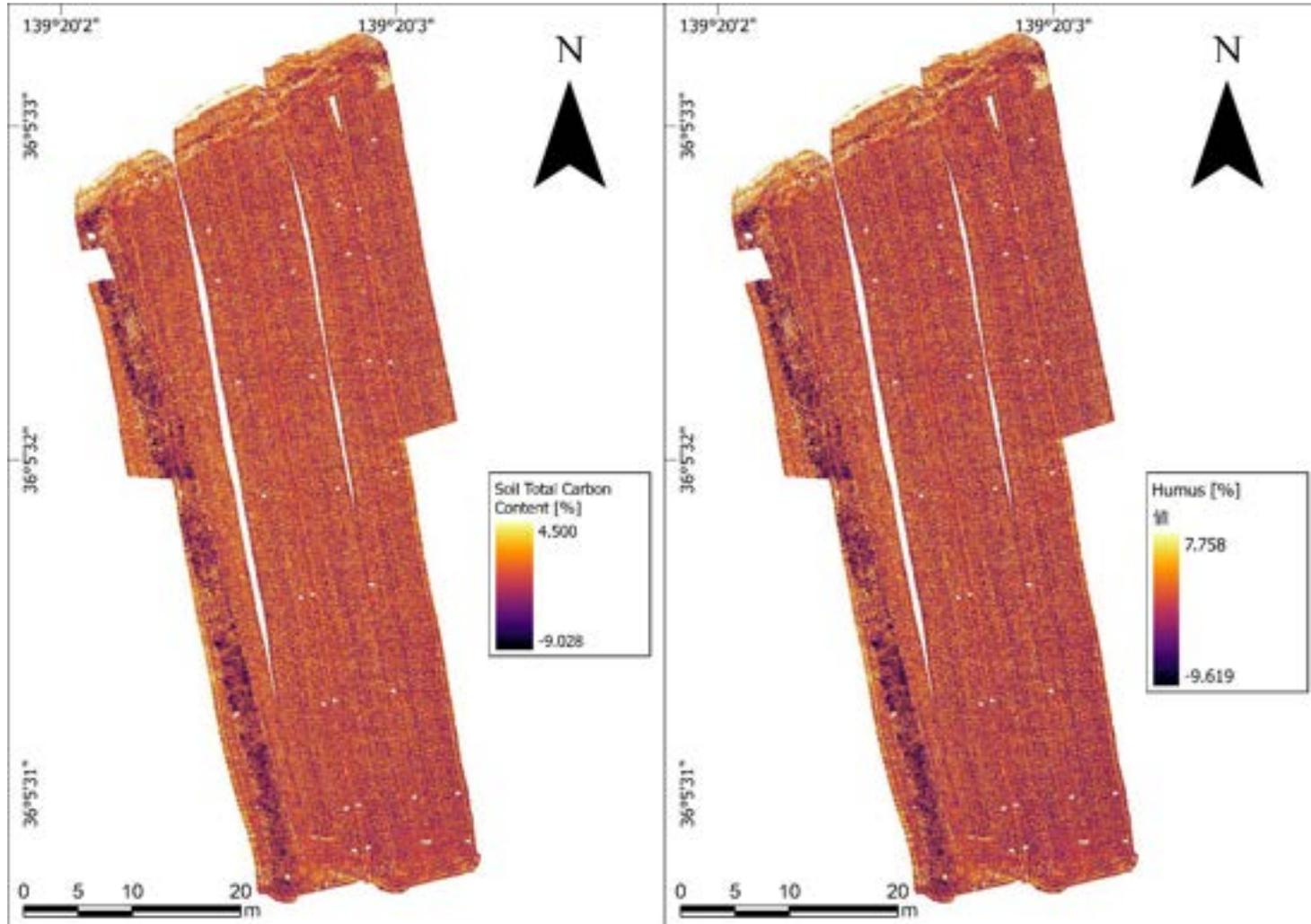
## **B. 地域循環通貨モデル**

- 土壌資本が増えた農家に地域ポイント付与
- 企業のESG資金が地域へ流入
- 消費者がネーチャーポジティブ米を選択
- 「環境価値 → 地域通貨 → 地域内循環」

## **C. 保険・金融連動**

- 洪水リスク低減 → 保険料割引
- 土壌炭素増加 → グリーン融資優遇
- ESG投資対象化

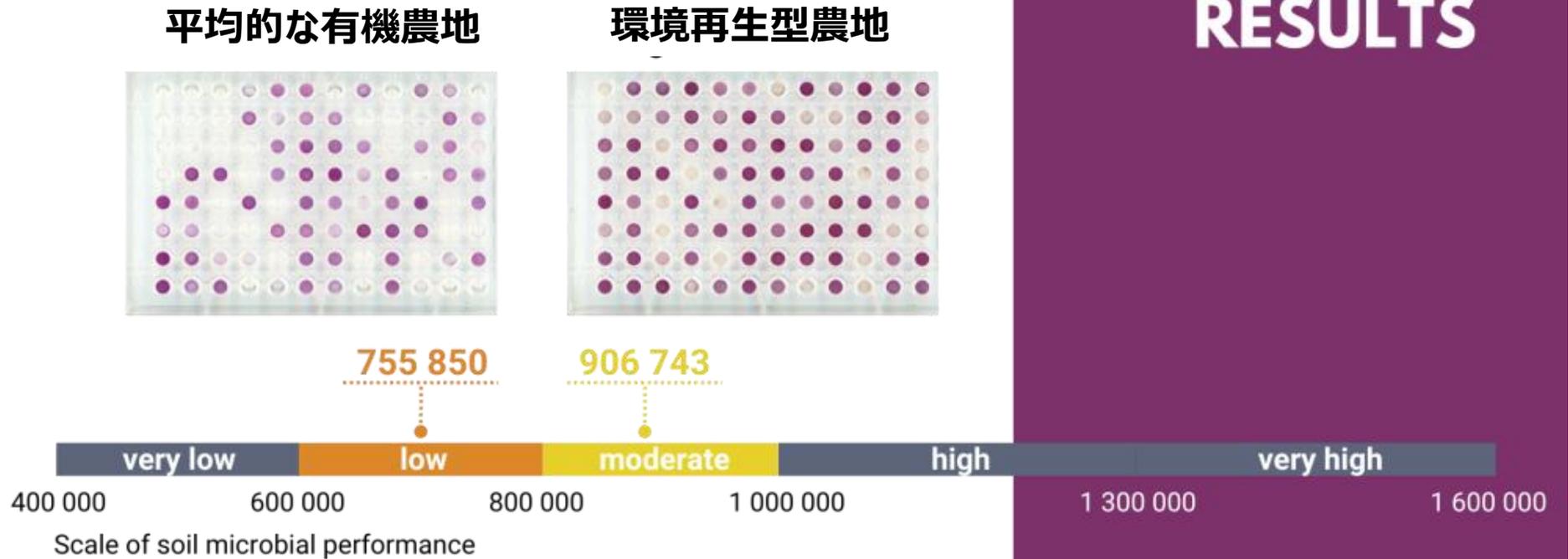
# ドローン搭載 ハイパースペクトルセンサーによる腐植分布の推定



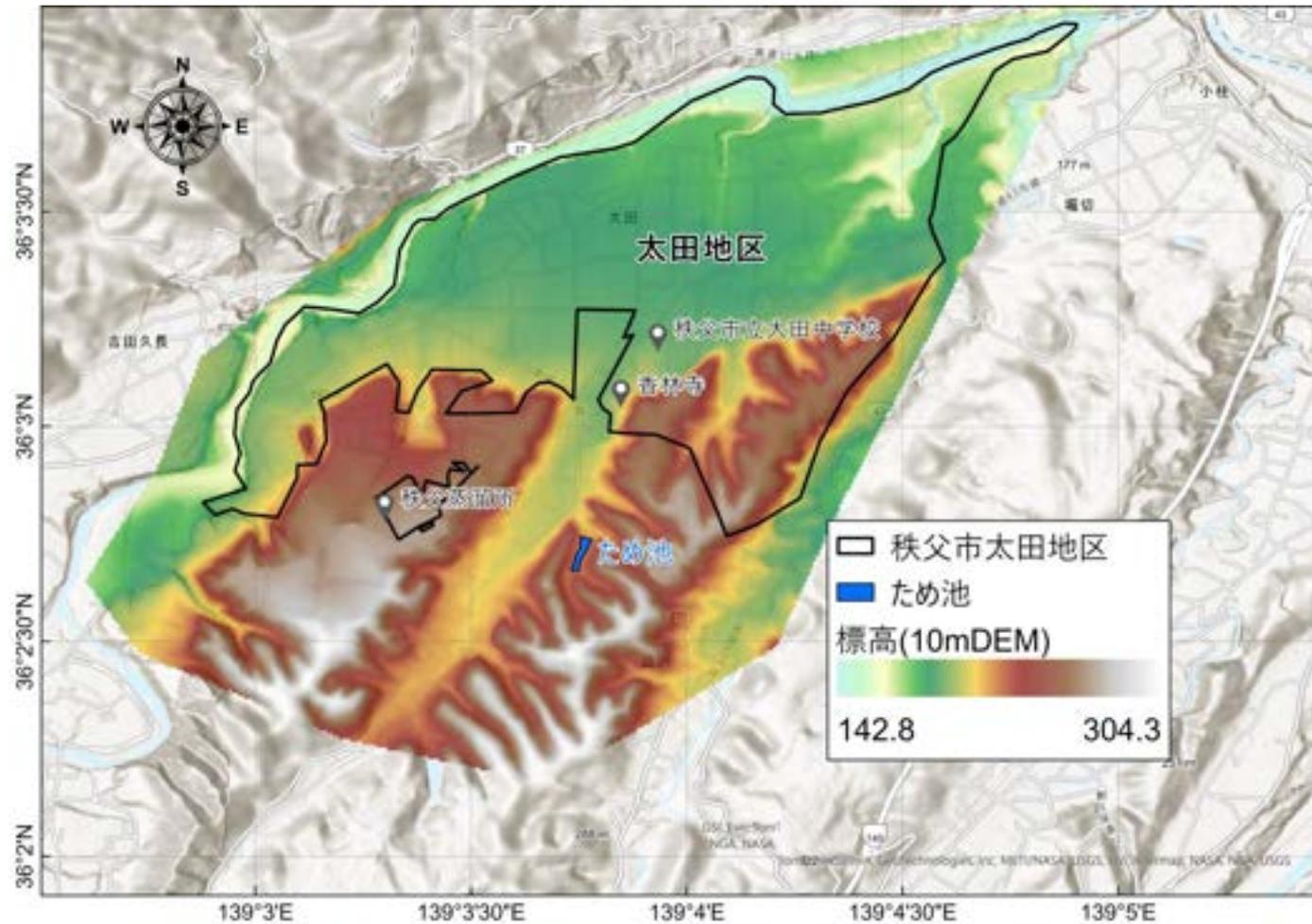
**Hums: 2.2%**  
**Available Nitrogen :**  
**7.3kg by Hyper**  
**(cf. 6.7kg by Absorbance meter)**

# 土壤微生物多様性・活性値

BIOTREX <https://biotrex.com/>

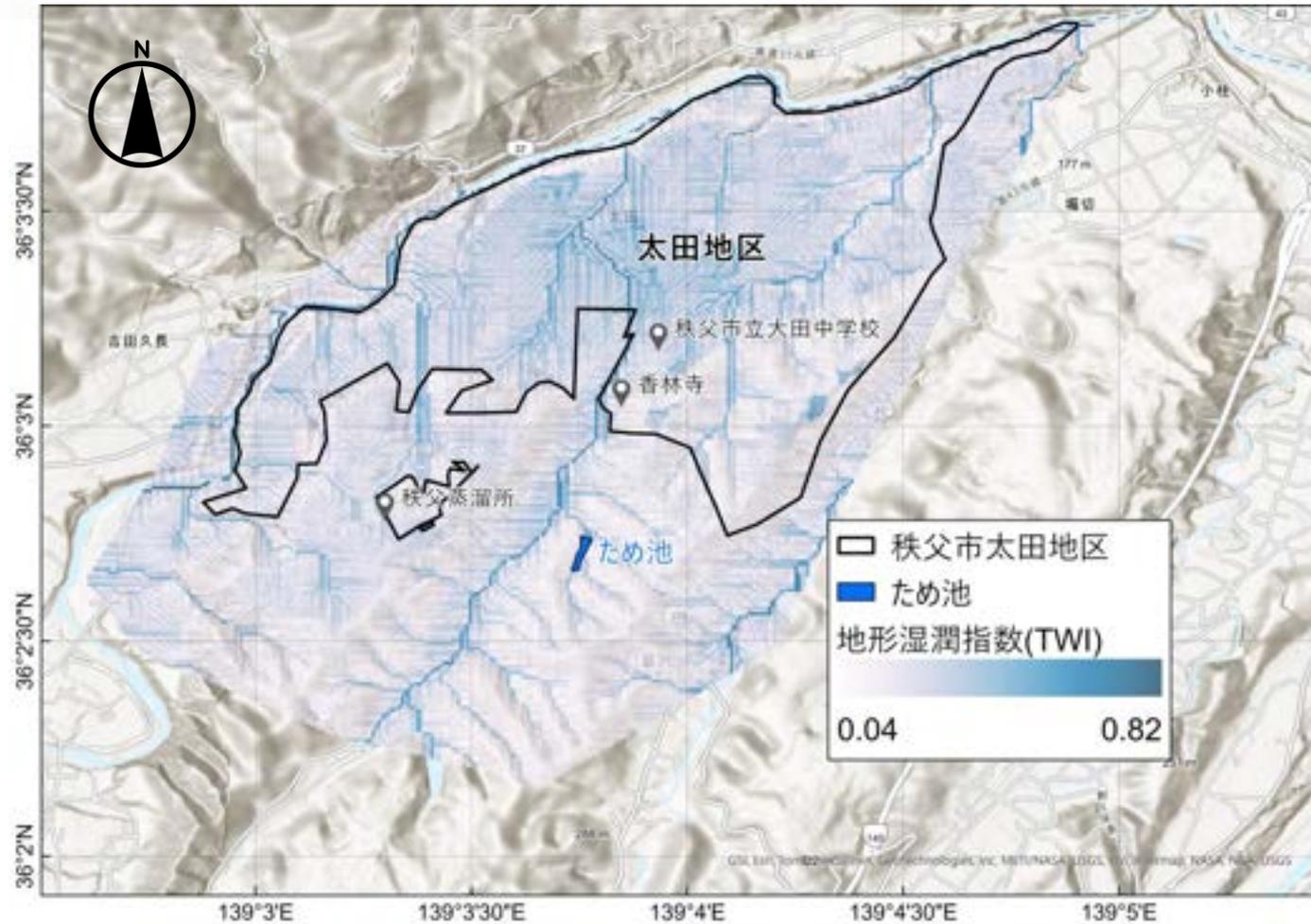


# 標高 (10mDEM)



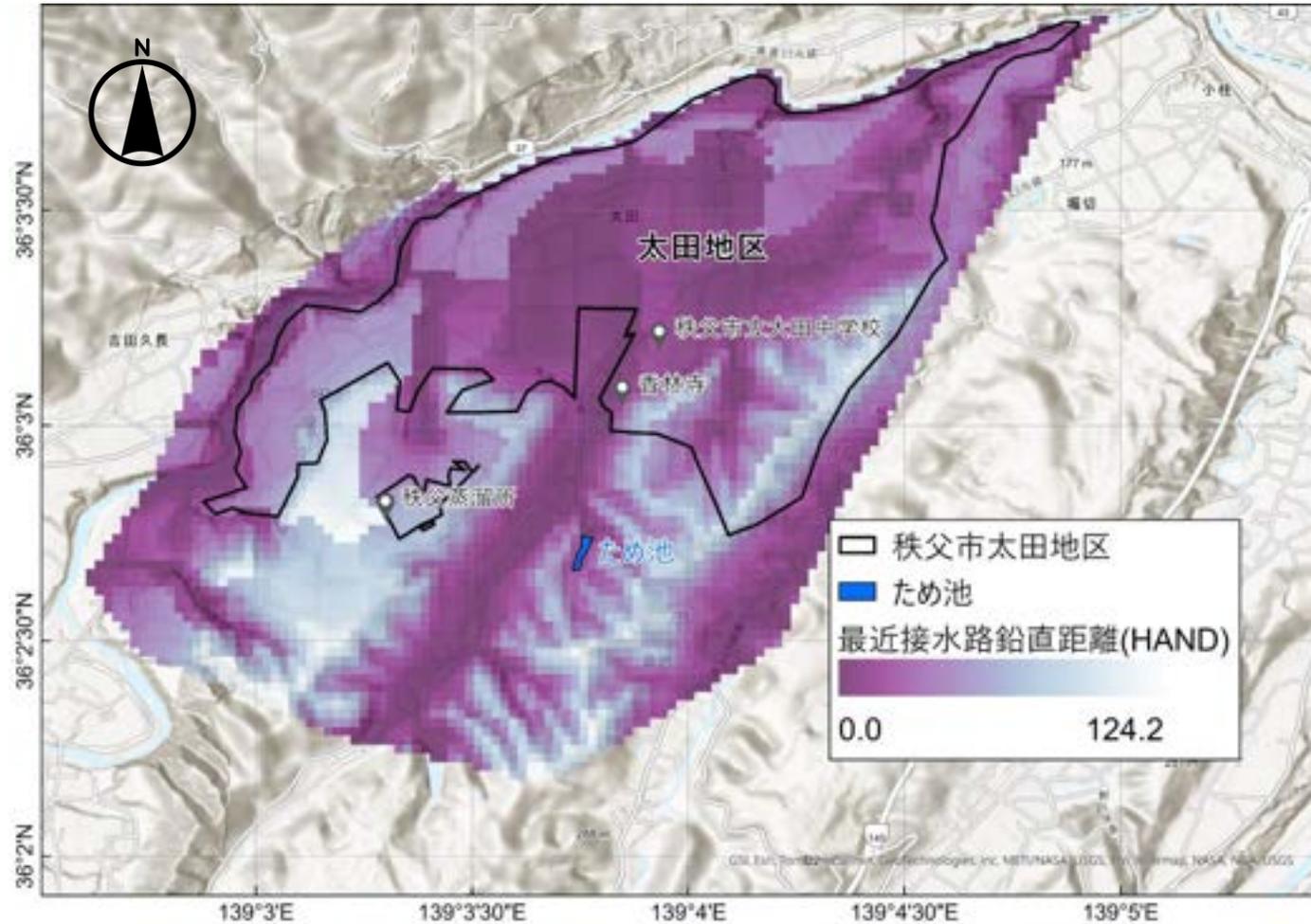
- 埼玉県秩父市太田地区の標高

# TWI (Topographic Wetness Index : 地形湿潤度指数)



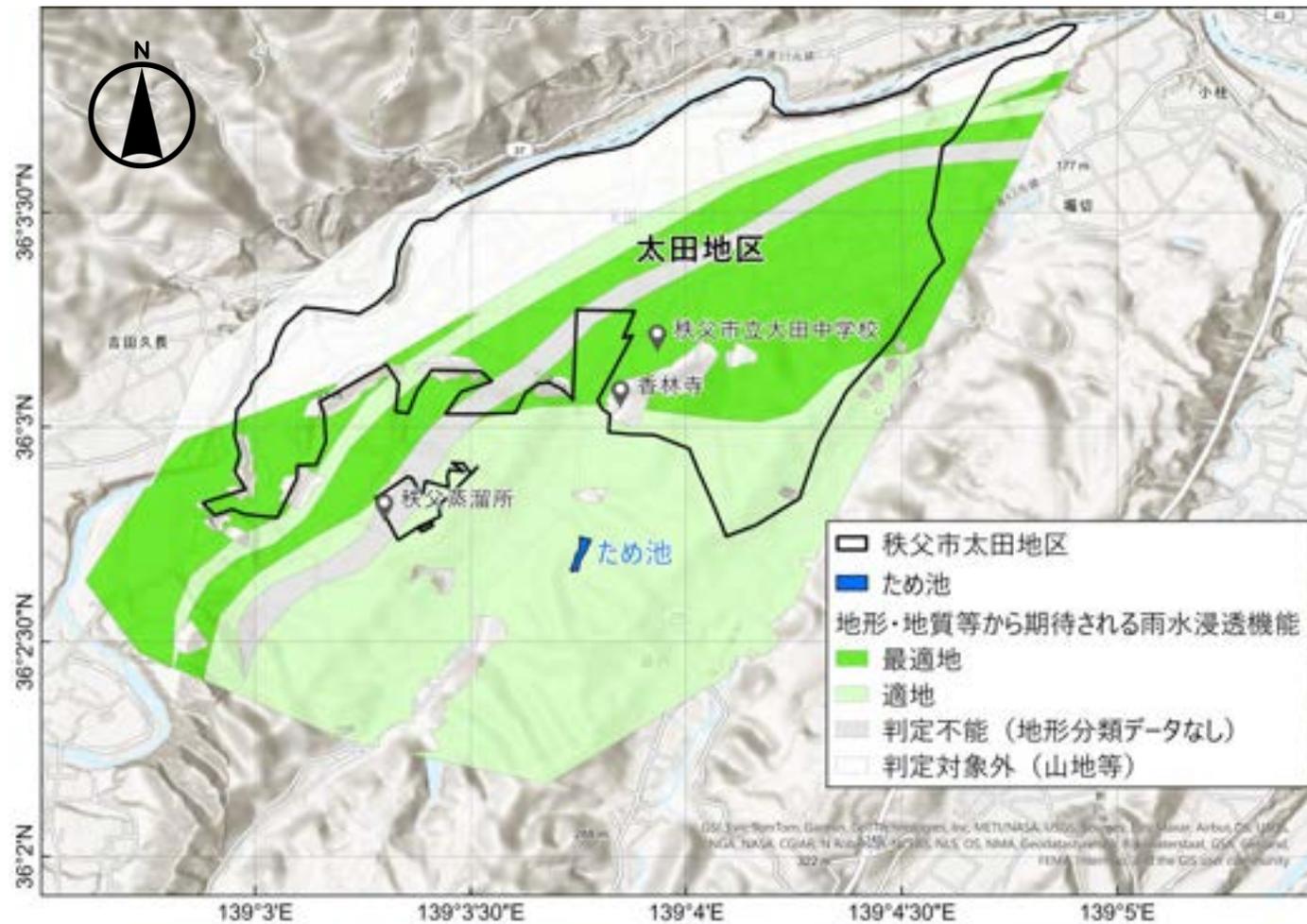
- 流域スケールで水が貯まりやすい場所を評価
- TWI値が高いほど**水が貯留しやすいエリア**であることを示す

# HAND (Height Above Nearest Drainage : 最近接水路鉛直距離)



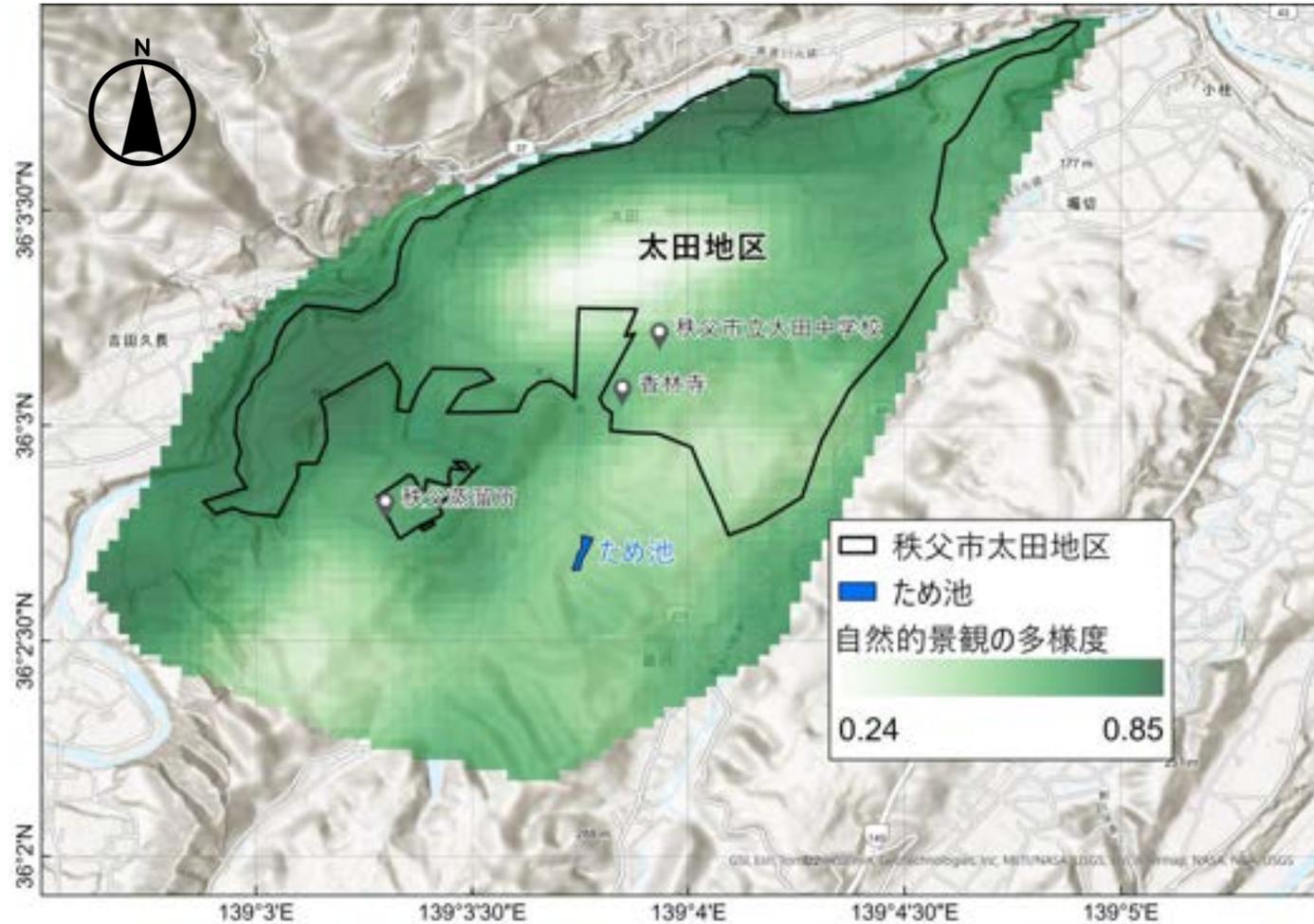
- 最も近い水路からの高さを示し、局所的に水が貯まりやすい場所を評価
- HAND値が低いほど湿地定期条件である

# 地形・地質等から期待される雨水浸透機能



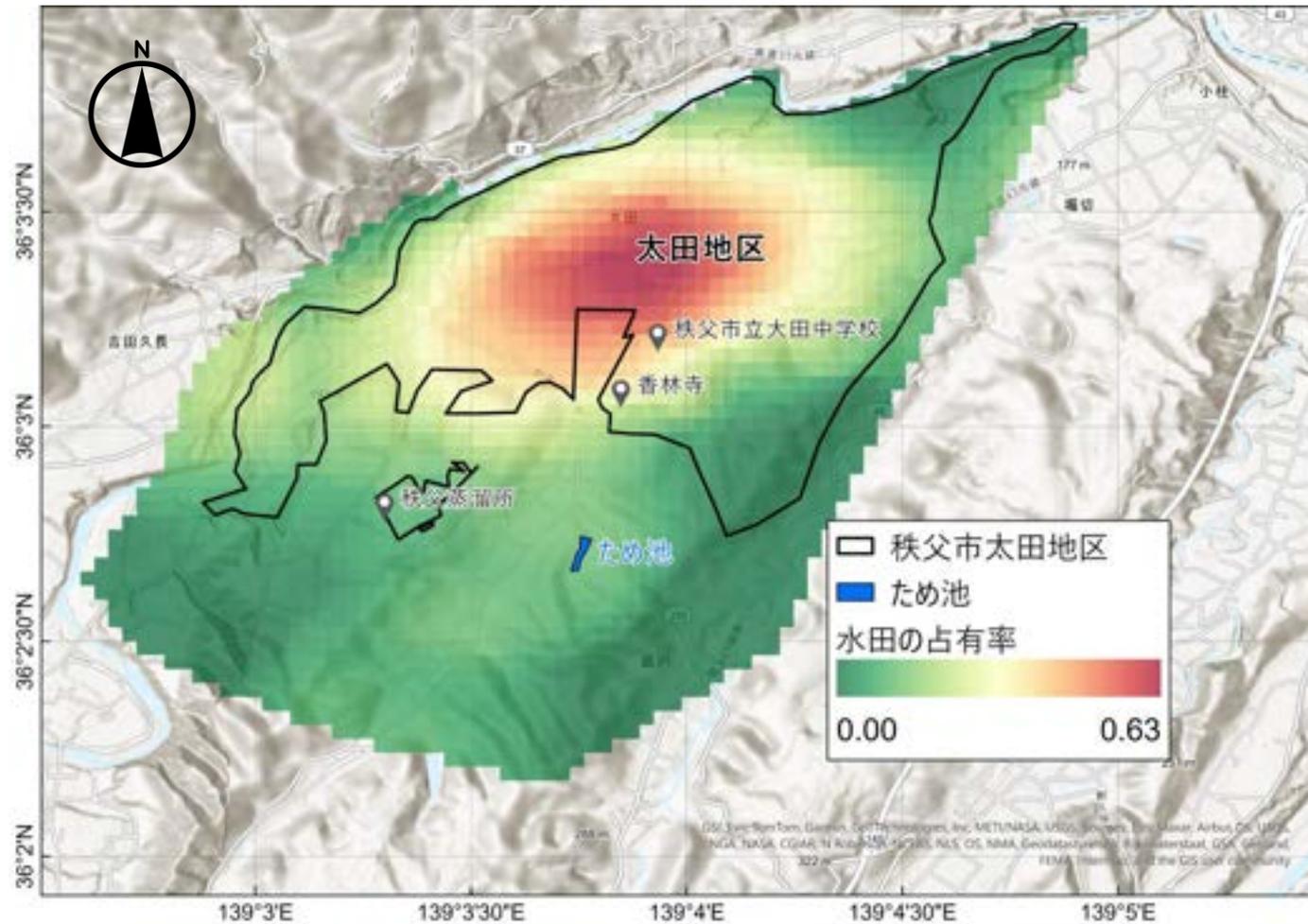
- 緑地等として残すことで雨水の浸透が期待できる場所

# 自然的景観の多様度



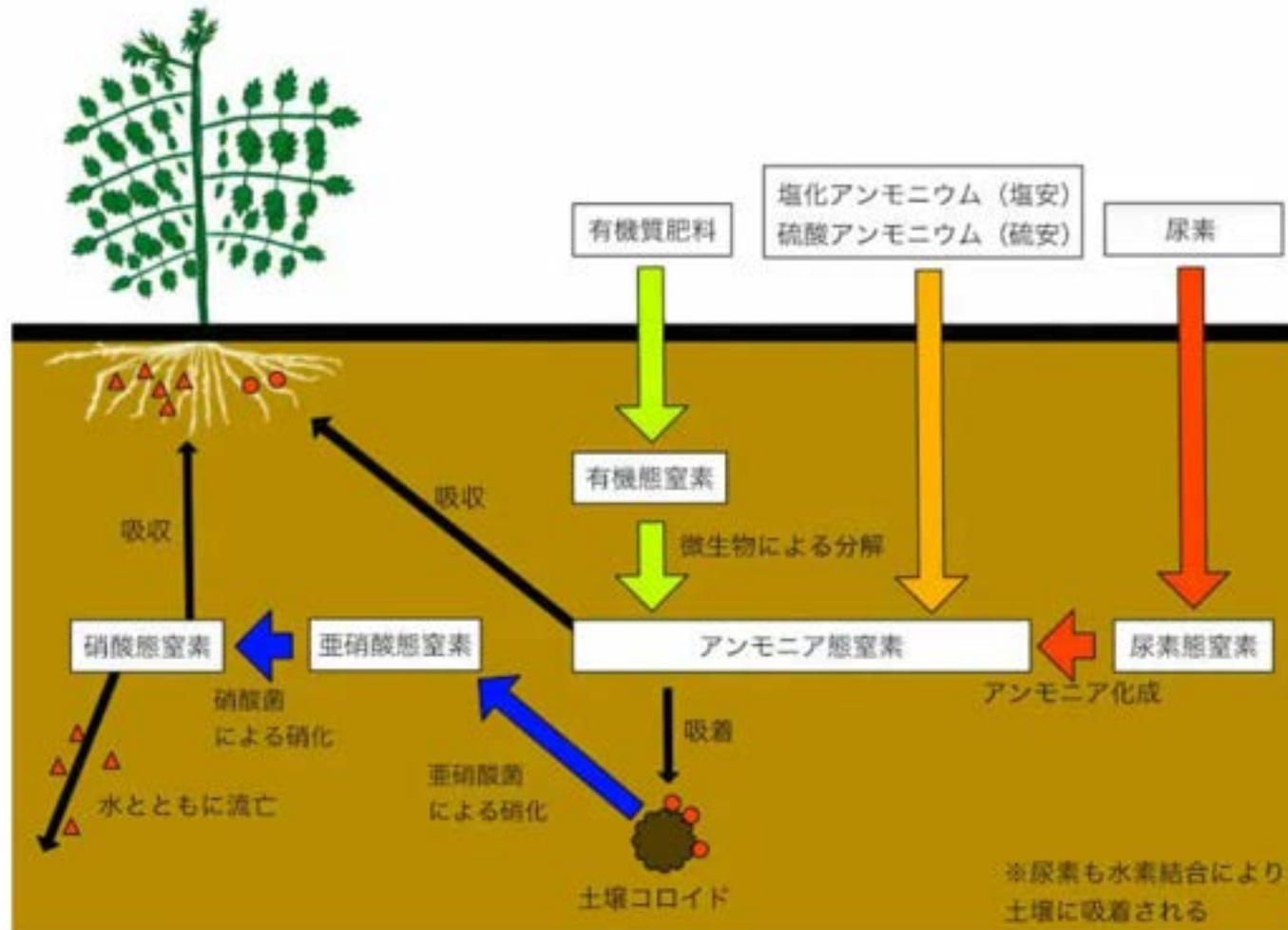
- 多様な種の生息・生育が期待できる場所
- 自然的景観の多様度 里山など生態系のモザイク性が高い場所を評価

# 水田の占有率



- 大型鳥類の餌場等としての機能が期待できる場所を評価
- 50mメッシュを中心として半径500m内の水田の占有率を算出

# 肥料について

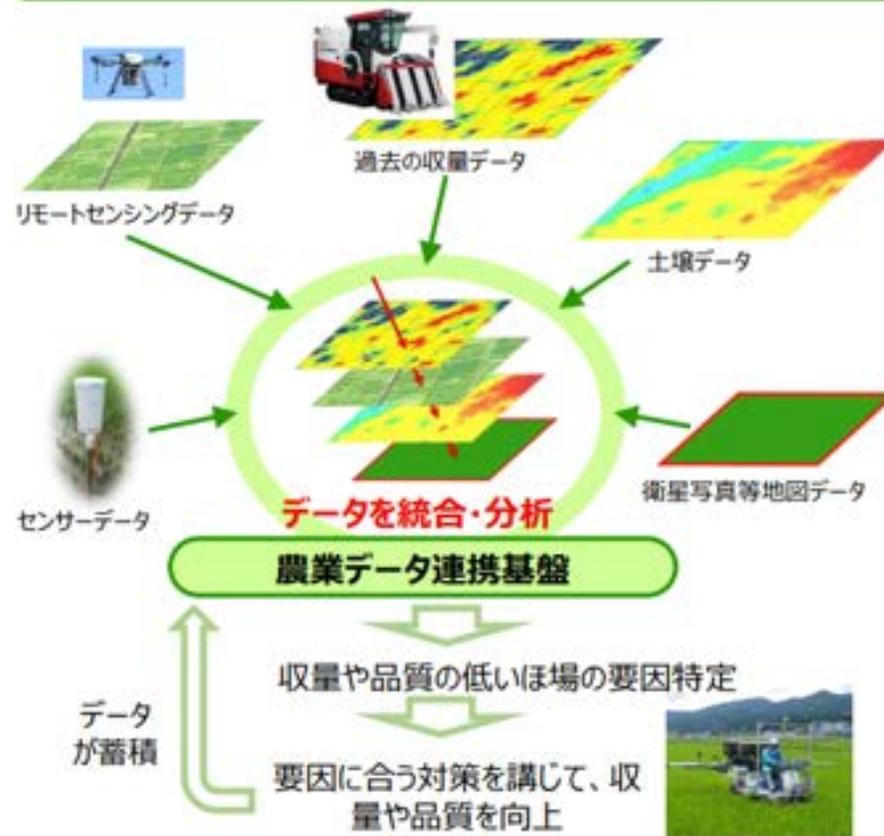


畑における作物の窒素吸収過程のイメージ

# 農業データの活用

## 農業データ連携基盤の効果①

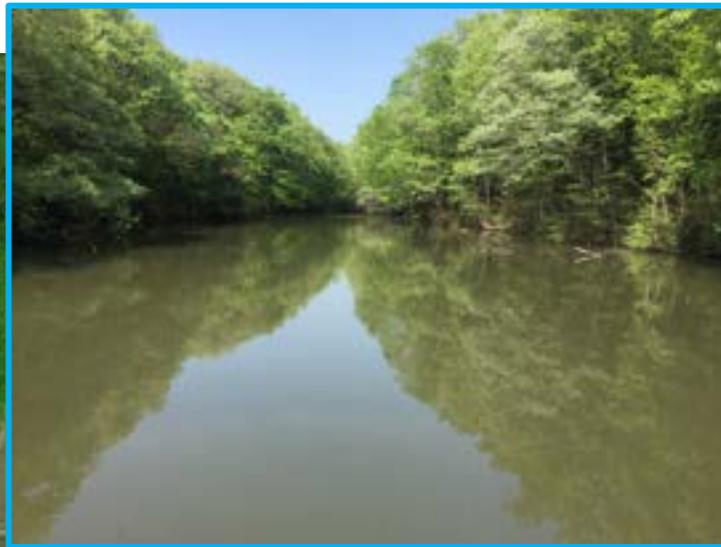
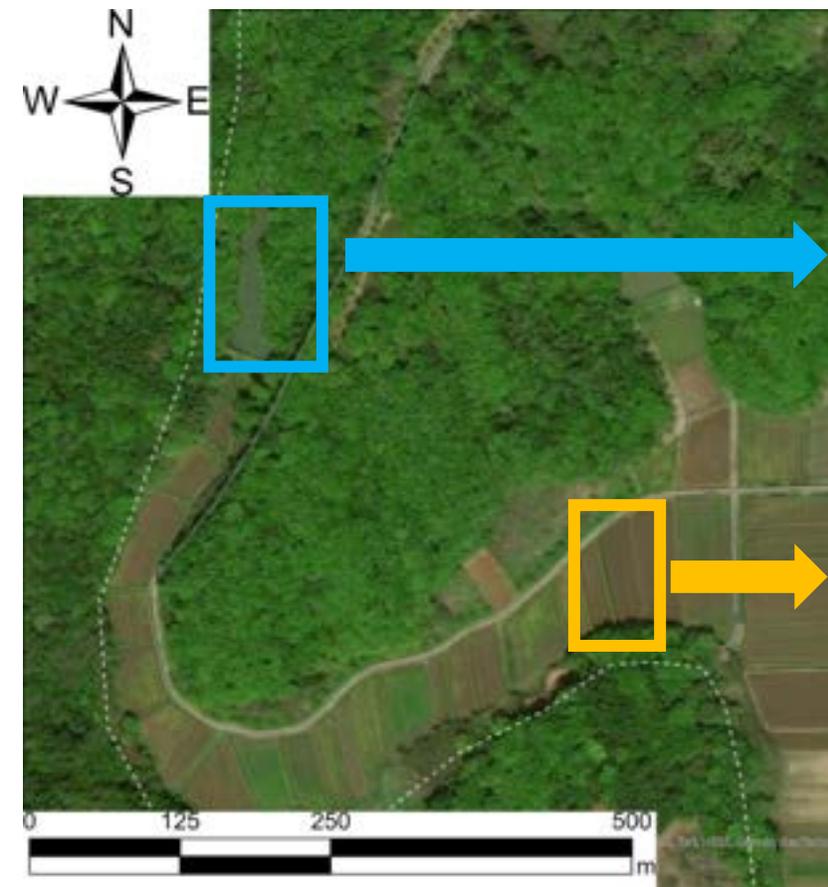
様々なデータを統合・分析できるようになり、収量や品質の向上が可能に



システム・データが連携しておらず、データを活かしきれていない状況

- ✓システムやデータが連携することによって総合的な解析が可能になり、**収量や品質の低いほ場の要因を特定**
- ✓要因にあった対策（施肥量の調整など）を講じることで**収量や品質を向上させることが可能に**
- ✓毎年毎年データが蓄積されていき、さらに高度な生産管理が可能に

# 研究対象

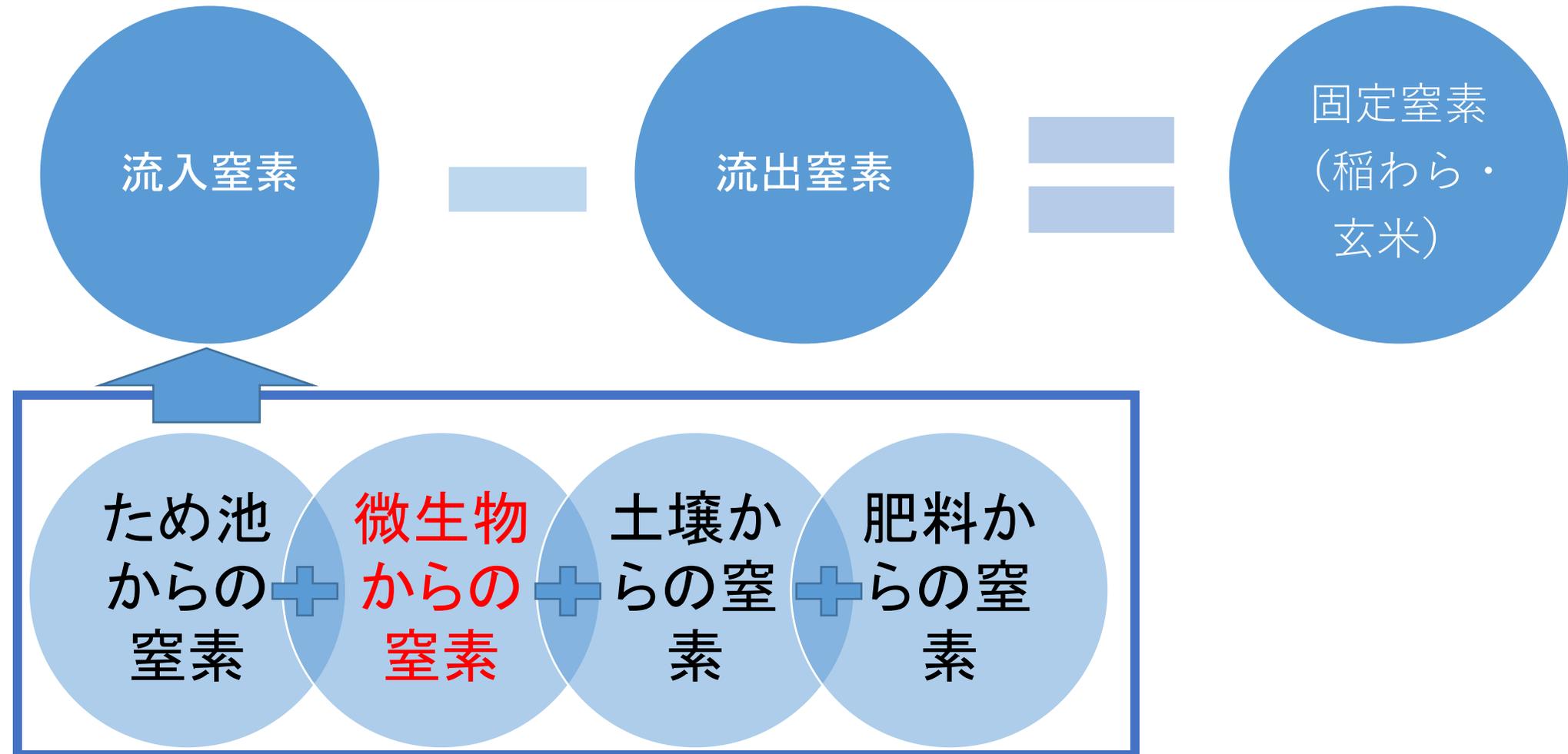


- 30m \* 120m程度の比較的大きなため池
- 大小合わせて26ほ場の水源



- 本年度はこのほ場と下流側のほ場合わせて3ほ場のみ水稲栽培がおこなわれる。
- 無農薬での管理
- 化成肥料60kg施肥済み
- 2022/6/24~26に田植え

# 肥料はどれだけ必要か？

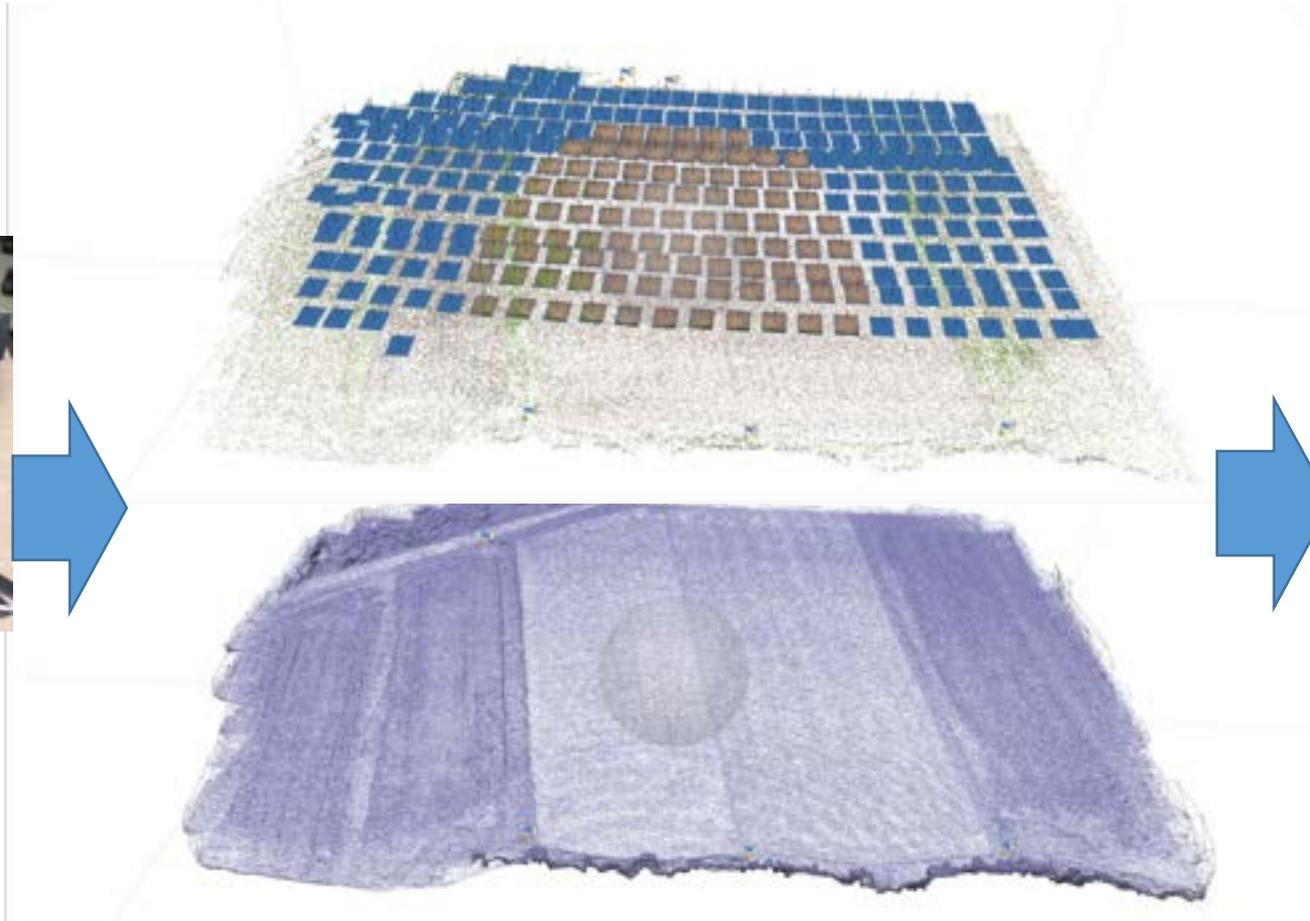


# 地形データの作成

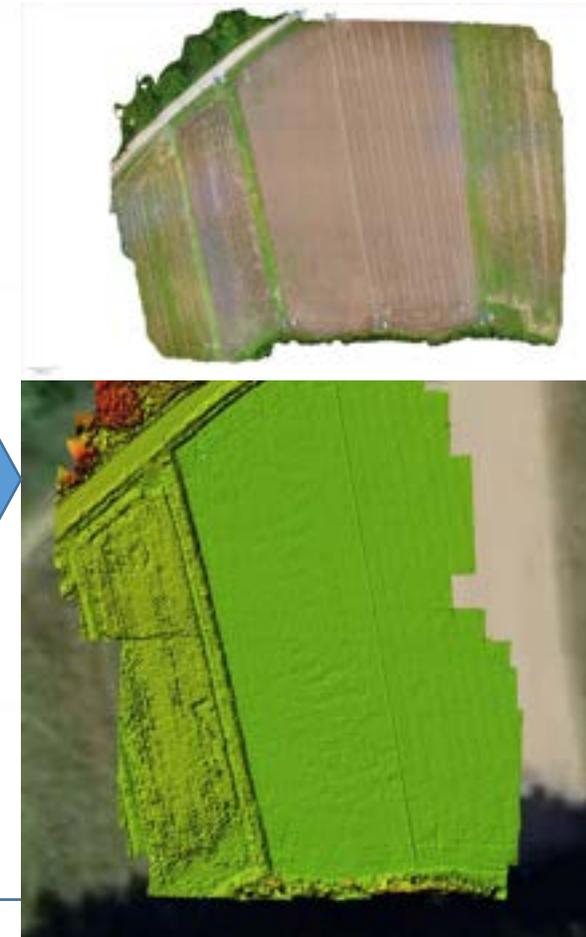


MAVIC PRO (DJI)

空撮 (画像取得)



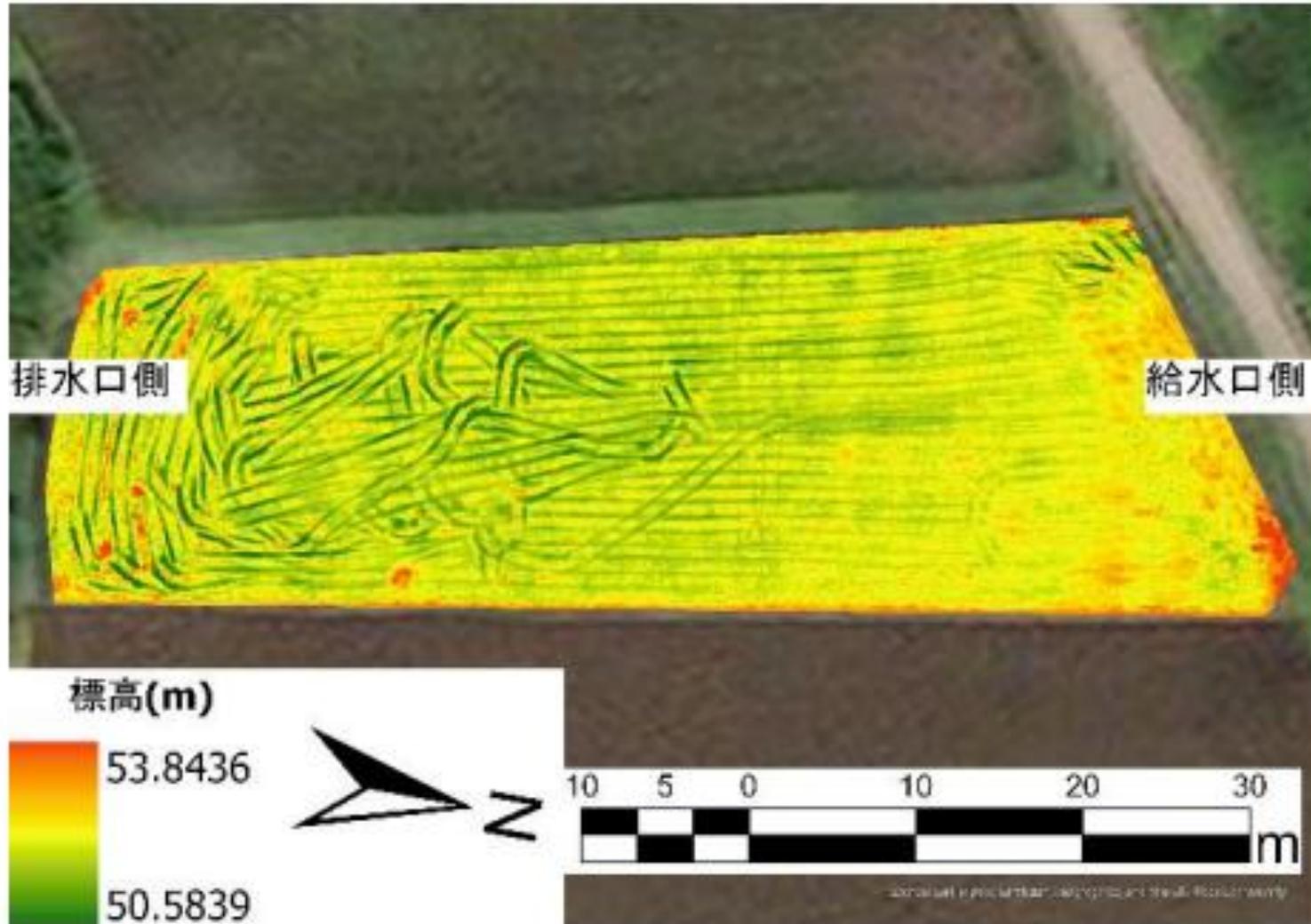
SfM-MVS処理 (点群・3D化)  
元モデリングソフトウェア (Agisoft 社  
AgisoftMetashapeProfessionalVer.1.7.5)



オルソ補正  
(DSM・RGB画像)



# ドローンによる地形の計測



最大高低差は18cm 程度

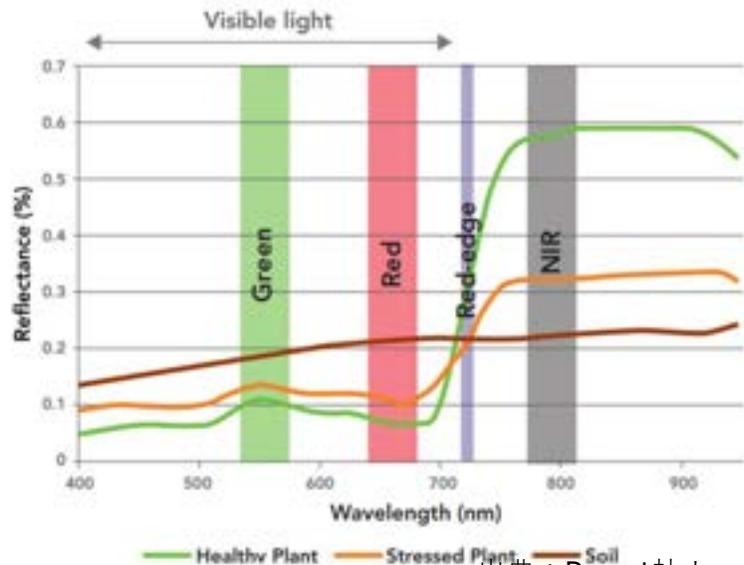
排水口側の水位が9cmに達すると水田全体が浸水し、水位9cm以降は、水位が1cm増加するごとに約15kL水量が増加することが分かった。

# 稲の内部にどれだけ窒素が固定されたかを推定



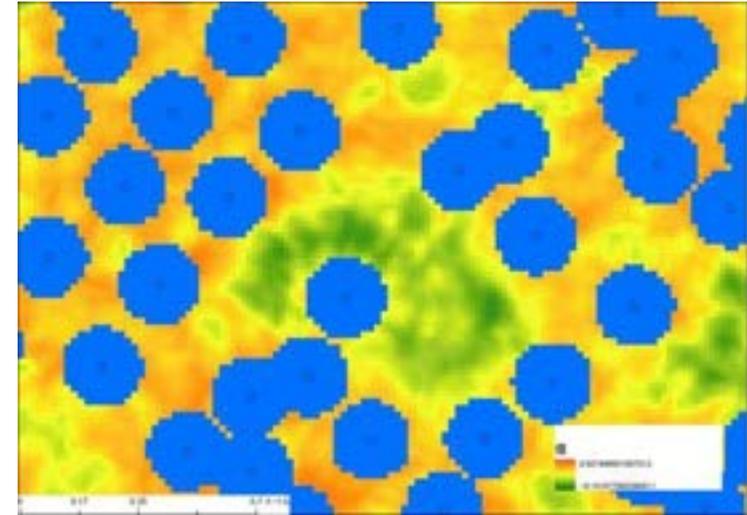
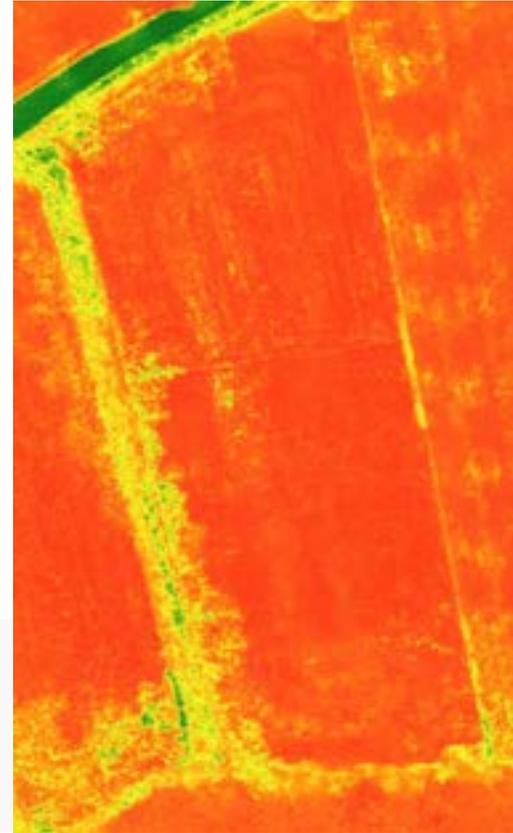
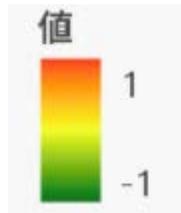
Sequoia(parrot) MAVIC PRO (DJI)

## Green Vegetation Reflectance



出典：Parrot社ホームページ

空撮（画像取得）



植物の活性度を-1から1に正規化した指標

$$NDVI = \frac{NIR - Red}{NIR + Red}$$



# 窒素はどこへ？

ため池からの窒素



肥料からの窒素



土壤微生物が  
有機態窒素を  
無機化



稲に固定される  
窒素



# 熊谷市小江川小堤沼・小川町小堤沼谷津田で 実証実験

肥料はどれだけ必要か？  
基準は何か？ 簡単に見積もれないか？  
土壌微生物に聞けば？

X

## 有機稲作セミナー

- ・慣行から有機への移行のポイント
- ・化学肥料に頼らない栽培へ
- ・農薬に頼らない栽培へ

# 重要なのは「ナラティブ」

## 農業遺産のレガシーをナラティブに

### 物語：

- 1000年以上続く谷津沼農業
- 沼普請のため池からミヤコタナゴの生存確認
- 沼下による水管理のルール

ネーチャーポジティブ経済

**データ × 物語 × 経済循環 の統合**

# 重要なのは「ナラティブ」

## 農業遺産のレガシーをナラティブに

### 物語：

- 1000年以上続く谷津沼農業
- 沼普請のため池からミヤコタナゴの生存確認
- 沼下による水管理のルール

ネーチャーポジティブ経済

**データ × 物語 × 金融 の統合**

ため池・谷津田の田植え体験



オープニングイベント「現代版 田楽」  
会場：ホテルヘリテイジ前西側田  
風景をつくる語り  
『土の記憶』(約20分)  
小林三悠  
(熊谷市久下出身)※カンパ受付



2018年  
6月24日(日)

参加費 500円 谷津田米おにぎりとお茶の軽食付

9:30 集合 12:00 まで

集合場所：ホテルヘリテイジ前駐車場  
(ゲートでおたすねください)

※田んぼに入りますので  
よこれていい靴下などをお持ちください

主催：小原宮農、農業生産法人ヘリテイジ・ファーム

協力：立正大学谷津田イノベーション研究会、自然栽培パーティー、NPOくまがや

●お問合せ・申込は

ホテル・ヘリテイジ予約室 TEL: 048-536-1212(代表)

または立正大学谷津田イノベーション研究会(後藤研究室)

TEL&FAX: 048-539-1653 gotoken@ris.ac.jp

川の少ないところで石木をつくるための年々入  
たきの知恵。ため池・谷津田内約500のうち  
200以上のため池がある熊谷川野を中心とした  
3市5町とJAが協議会をつくり、今年この農  
業文化を世界・日本農業遺産に申請します。  
熊谷市小立川のホアル・ヘリテイジに隣接する「日  
向沼」は江戸時代から続く「ため池」のひとつ。昨  
年10月にはテレビ東京「池の水ぜんぶ抜く大作戦」  
で数十年ぶりに池まがいが行われた日向沼下の熊田  
で、昨年に行き田植え体験会が行われました。  
オープニングイベントとして、伝統的な田楽を演  
でパフォーミング・アートを体験する「現代版田楽」  
小林三悠「土の記憶」を上演。ぜひお楽しみにな



参加費は10月に予定



<https://kumagaya.keizai.biz/headline/641/>

<https://www.sake-japanese.shop/product/product-912>



# 谷津の祈り



単価  
1,500円(税込)  
(720ml)

「祈り」の由来、由来の由来

比企丘陵S里山

川から水を引かないで、川を流す

村人たちは水の湧く谷をせま正めて水を作り限りのある水を大切に管理し、

「祈り」の由来

比企の土は活だいな水は新鮮で、米を育てるには、千石百年、米の歴史は、

水と土の歴史、

大きな歴史、

谷津田の日本酒「ミナト・フロッシエ」が誕生した。

「祈り」の由来、

## ■ 企画・米作り

立正大学谷津田イノベーション研究会  
比企丘陵農業遺産推進協議会

## ■ 製造・販売

〒360-0843 埼玉県熊谷市三ヶ尻 1491

権田酒造 株式会社

Tel: 048-532-3611

Fax: 048-532-7889

E-mail: sonda@pskskyne.jp

## ■ 販売

〒360-0043 埼玉県熊谷市豊川 2-95

有限会社 横山酒店 Tel: 048-522-0744

〒349-1103 埼玉県久喜市草場 2-7-27

有限会社 井上酒店

Tel&Fax: 0480-52-0317

E-mail: info@inoue-cyza.com

悠久の谷津沼(ため池)と  
共に歩む **里山農法**

# 世界農業遺産 日本農業遺産 応援ツアー!!

## 1泊2日 10/6±7日

### 沼の水を抜く 挿会復活大作戦



「沼の水を抜いて魚を捕る」  
昔ながらの呼び方です

#### 体験① 「ため池ミニシンポジウム」開催!!

比企丘陵地域において古代より  
行われている「里山農法」

埼玉県の中央に位置する比企丘陵地域に広がる  
なだらかな丘陵の間には、地域では「谷津田(やつ  
た)」とよばれる特徴的な水田を多数見ることがで  
きます。「里山農法」による米づくりが続けられてき  
ました。

みんなで学んで、  
みんなで守ろう!  
周辺大学が集結!

「比企丘陵農業遺産推進協議会」  
の設立と「農業遺産」への申請

近年、農業就業者の高齢化や後継者不足により、  
「ため池」の管理が行き届かなくなるなど、「里山農  
法」の継承が危ぶまれています。  
このような状況を受け、平成29年7月に、「比企丘  
陵農業遺産推進協議会」が設立されました。

#### 体験② ため池の水を抜きます!!

「掘り会」を  
体験しよう!

「地域コミュニティ」の形成に重要な役割

里山農法は、水利の調整や「沼管理(補修工  
事)」「沼さらい(溜まった泥の除去)」などの  
共同活動を通じた「地域コミュニティ」を  
形成し、地域の伝統的な農業並びに農村文化  
の保存と継承の基盤として、重要な役割をは  
たしてきました。

#### 体験③ 生き物観察!! 珍しい生き物が見つかるかも!!?

「生態系の維持」に重要な役割

水田面積あたりの「ため池」の数が全国ト  
ップクラスとされる比企丘陵地域が有する  
自然環境は、国の天然記念物の「ミヤコタナ  
ゴ」や国産の「オムラサキ」などの「貴重  
な生物」を育てています!

#### 体験④ 谷津田米の新米を食べる!!

ぬか釜で炊いて食べよう!  
夕食は地元食材を使った  
バーベキューです  
~JA滑川直売所応援~

「地域ブランド米」の誕生

谷津田で採れる米は美味しいと地元  
では評判でしたが、近年、高精度の食味  
計の開発により、食味値が高いことが科  
学的にも裏付けられ、「地域ブランド  
「谷津田米」」の誕生などにつなが  
っています。

詳しいスケジュールは裏面へ!

比企丘陵農業遺産推進協議会の設立に賛同する個人・団体等の賛助会員を募集中です。詳しくは滑川町 産業振興課まで

# 10/6±

ホテルヘリテイジ到着シャトルバス発着  
森林公園駅北口・バーベキューパラダイス・ホテル  
森林公園駅北口出発 11:30発 12:30発



- 13:00 バーベキューパラダイスへ集合  
電車の方は12:20森林公園駅の北口ロータリー集合  
無料シャトルバスで バーベキューパラダイスへ  
マイカーの方は最前13:00バーベキューパラダイスへ集合
- 13:30 バーベキューパラダイス出発「伝統漁法」と  
ため池へ移動 「生き物観察」
- 16:00 終了  
大学生による  
「子供でもわかる谷津沼(ため池)ミニシンポジウム」  
滑川町の食育サークル「はあとキッチン」による食育セミナー  
農家レストラン「ぬかのすけ」で「ぬかのすけ」おみやげの紹介など
- 18:00 夕食 地元食材を使ったBBQ  
ぬか釜で炊いた新米、  
お子様はドリンクバー  
大人は生ビールなど  
トルネードディスペンサーで  
ほくほくビールを  
お楽しみください。
- 19:30 バスで移動  
ホテルヘリテイジ到着・宿泊  
「四季の風情を感じられる天然温泉  
ときの湯(ときのみ) 温泉でおくつろぎ下さい」
- 20:00

# 10/7日

- 10:00 ホテルヘリテイジ出発  
専用バスで滑川農産物直売所へ
- 10:30 さつまいも堀り  
直売所で地元農産物のお買い物
- 12:00 解散 電車の方は無料シャトルバスで森林公園駅へ  
マイカーの方はバーベキューパラダイスで解散

宿泊場所



ホテルヘリテイジ  
〒360-0103  
埼玉県滑川市小江川2-2-8  
TEL 048-536-1212

とりの湯



男女別に分け湯風呂・ジェットバス・サウナ・露天風呂のほか、水着着用可  
の露天プールは長さ9mの打たせ湯に露天風呂も有ります。

申込・問合せ

滑川町農泊推進協議会

事務局:滑川町 産業振興課

<http://nouhaku-namegawa.com/pg65.html>

滑川 農泊 検索

TEL:0493-56-6906

FAX:0493-56-2448



埼玉県滑川町  
農泊推進協議会

大人1名様 (税込)  
**10,000円**  
子供1名様 (税込)  
**7,000円**

\*さつまいも1kg付きです。別途買った芋は  
200円/1kgで販売いたします。

\*日帰りをお希望の方はお気軽に  
ご相談ください

●HPもご覧ください 滑川 農泊 検索 <http://nouhaku-namegawa.com>

## 関連サイト

環境データサイエンスを学ぼう : <http://rissho-es.jp/info/oc.html>

環境情報学分野の紹介 : <https://bit.ly/4d7VxV4>

環境システム学科 : <http://rissho-es.jp/>